

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2017
July
No.1065 **7** 月

表紙 本別消防団
創立100周年記念式典



Pick up

- ✿ 7・15 本別空襲 この日を忘れない
- ✿ ほんべつ健康ウイーク2017
- ✿ 本別消防団創立100周年記念式典
- ✿ 運動会・体育祭が行われました

資料館企画展

7月15日本別空襲を伝える ～戦争にいった馬たち～

期間 7/1(土)～8/31(木) ※月曜休館日

開館時間 9:00～16:00 (土日は15:00まで)

会場 歴史民俗資料館

入場無料

7・15 本別空襲 この日を忘れない

～平和を語りつぐための事業を開催します～

太平洋戦争末期の1945（昭和20）年7月15日、本別町を襲った町史最大の惨事「本別空襲」。この日の悲しみと、そこから立ち上がり現在の町を築き上げた多くの人々の努力を、私たちは忘れてはいけません。



軍馬慰霊碑（本別町美里別東下）

馬も戦場へ

本別町には、開拓時代から馬との歴史が残っていますが、戦争の時代にも深いつながりがありました。
1907（明治40）年、軍馬補充部の前身となる陸軍牧場が仙美里、足寄、植坂、上利別地区に開設され、今年で110年となります。軍馬補充部では馬を購買し、2歳から5歳まで育成し、訓練した後、各部隊へ納めました。西仙美里（現・農業大学校）の軍馬補充部十勝支部本部、美里別分廠（ぶんぎゅう）現・拓農）からも、多くの馬が戦場へ送られましたが、ふるさとに帰ることはありませんでした。



軍馬補充部十勝支部本部正門

出征軍馬四郎号

生きとじ生けるものの命

今年の企画展テーマは「軍馬」。歌手のさだまさしさんが地元長崎でプロデュースしている「ナガサキピースミュージアム」の協力をいただいています。

軍馬慰霊碑物語

1988（昭和63）年10月、町内美里別東下（家畜品評会場）に軍馬慰霊碑が建立され、今年30年目を迎えます。これは、戦中に仙美里駅で軍馬の輸送に携わった人が「自分の手で嫌がる馬を戦地へ送ってしまった」という後悔の念と、馬たちへの供養の気持ちから、建てたものです。石碑の中には、馬踏板（はふみいた）馬を貨車に乗せるために渡した板、全国から寄せられた軍馬のたてがみや名簿、手紙などが納められ、毎年7月15日に慰霊祭が行われています。

前日からの北海道空襲

1945（昭和20）年に入り、戦況は悪化し、日本各地で都市を中心に、空襲が激しくなりました。それまで空襲を受けなかった北海道も、7月14日、兵器生産基地であった函館、室蘭、根室、釧路などが攻撃され、15日と両日で太平洋側を中心とする78市町村で、約20000人の命が失われました。



空襲により燃え上がる本別市街（中心街の3分の2が焼失）

十勝最大の被害

7月15日午前8時ごろ、雲の切れ間となった本別上空に43機の米軍機が来襲し、約50分の爆撃が始まりました。十勝では帯広、池田、音更、浦幌なども死亡者が出ましたが、本別の40人が最大の被害となりました。特に市街地中心部（現・北3、北4、北5丁目）、開成橋（現・本別大橋）付近では、幼児を含む34人が亡くなっています。



資料館友の会による空襲資料の説明（昨年の企画展）

本別空襲を受けた防空ずきん（夏川ケイ子さん提供）

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき 7月15日(土) 午前10時
ところ ふれあい交流館（向陽町）

本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。追悼式では、黙とう、追悼のことは、献花などによって、犠牲者のご冥福をお祈りしますので、多くの町民の皆さんの参加をお願いします。また、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時05分ごろに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますよう、重ねてお願い申し上げます。



昨年の追悼式

追悼式の問い合わせ 保健福祉課社会福祉担当（総合ケアセンター内） ☎ 22-8520

本別高校ミニ移動展

7月8日（土）・9日（日）に開催される「本高祭」会場で、生徒や来校者の皆さんに同校の大切な歴史でもある「本別空襲」を伝えるため、資料館の資料を一部展示します。72年前空襲によって殉職された当時の山内三郎教頭や、旧校舎の写真、昨年同校で開催された公開座談会の様子など、本別高校にまつわるミニ展示です。「本高祭」ご来場の折にどうぞご覧ください。

企画展・移動展の問い合わせ

歴史民俗資料館

☎ 22-2141

（内線410）

☎ 22-5112

図書館

本別消防団創立100周年

記念式典・祝賀会



式辞を述べる遠藤団長

本別消防団（遠藤利之団長）創立100周年記念式典・祝賀会が6月4日、中央公民館で行われました。

100年の苦勞しのび、消防任務への決意、新たに



式典を見つめる消防団員



感謝状を受け取る内津さん



感謝状受賞者の皆さん

本別消防団は、大正6年6月に本別市街に消防組が編成されて以来、昭和2年に仙美里市街、昭和13年に勇足市街にも消防組が設けられ、これまで100年の長きにわたり、予消防に取り組まれてきました。

記念式典には、団員や来賓など計135人が出席。国歌斉唱と、消防関係者への黙とうの後、遠藤団長が、「消防団の100年は、数多くの先駆者や諸先輩が幾多の困難を克服し団の発展に力を尽くされてきた証です。これからも地域住民の皆さんの安全を守るため、一致団結し、災害に臨することなく、消防団の任務を果たしてゆく所存です」と式辞を述べました。続いて、高橋正夫町長が同団のこれまでの団長や副団長、分団長など26個人1団体に感謝状を贈呈。受賞者代表謝辞では、元本別消防団長の内津喜二三さんが、受賞の喜びと感謝の思いのほか、消防団長として務めた16年間を振り返った上で、「これからも消防団活動を側面より応援し、火災等の予防に積極的に努めてまいります」と語りました。

式典終了後には、本別消防団の団員や、感謝状受賞者など計約130人出席のもと、祝賀会が開かれ、会食を交えながら団の100年を祝福しました。

健康スポーツ週間事業

ほんべつ健康ウィーク2017

運動の実践により健康な心と身体を養う活動強化週間として、「ほんべつ健康ウィーク2017」（町、教育委員会主催）が5月29日から6月4日までの1週間、町内全域で開催されました。



ディスコン大会



太陽の丘パークゴルフ大会



筋力アップ講座



早朝ラジオ体操

本別町では、昨年まで6年間にわたり笹川スポーツ財団が主催するチャレンジデーに参加してきましたが、平成28年度に実行委員会を解散し事業を終了。本年度より、気軽に運動に取り組む機会の提供と、運動の日常化に向けた健康のきっかけづくりを目的として「ほんべつ健康ウィーク」を開催しました。

期間中は屋内外すべての体育施設が無料開放されたほか、町や体育協会などが主催する健康にちなんだイベントが催され、町内外から計518人がイベントに参加し、計2,138人が体育施設を利用しました。また、同ウィークの関連事業として、食と健康づくり講演会が健康管理センターで行われ、長野県諏訪中央病院名誉院長の鎌田實医師が「豆や野菜をたくさん食べて、病気を予防しましょう」と呼び掛けたほか、柏木町ではラジオ体操等を実施するなど自治会独自でも取り組まれ、参加者は体力向上や健康づくりについて意識を高めました。



柔道体験会



ミニバレー大会



ふまねっと・ガンバルーン体験会



バスケットボール体験交流会



ゲートボール大会



親子テニス教室



柏木町自治会ラジオ体操&ウオーキング



食と健康づくり講演会



バドミントン体験会

仙美里小学校大運動会 ~保育所・小学校~ 6/3

テーマ「33人の強い絆で目指せ真の勝利！」



よさこい・2017



オリンピック



どうぶつへんしん!



応援合戦

本別中央小学校運動会 6/3

スローガン「全力 ~勝利を目指して限界をつきやぶれ!!~」



タイフーン



組体操 ~心ひとつに~



よさこいソーラン ~道の上より~



騎馬っていこう!!



さん・サン・SUN

認定こども園ほんべつ 6/17



綱引き



進め。ゴーストバスターズ!



きどりっこカメさん

2017 運動会・体育祭

本別中学校体育祭 5/28

テーマ「GO FOR IT ~限界を越えろ~」

子供たちの笑顔が
はじけた、地域の
一大イベント運動
会・体育祭。グラ
ウンドでは汗がいっ
ぱいに競技に取り
組む姿があふれ、
たくさん感動が
生まれました。

力の限り

今年も5月下旬から6月上旬にかけて、
内中学校グラウンドで運動会・体育祭が、
また6月中旬には認定こども園ほんべつで
初めての運動会が開催されました。この日
のために一生懸命練習を重ねてきた子供た
ちは、運動会・体育祭のテーマ・スローガ
ンの下、個人や団体種目に真剣に取り組み、
勝利を目指し健闘。各会場には、応援に訪
れた家族や祖父母、子供たちの声援が響き
渡り、イベントを盛り上げました。
雨天や低温など天候に悩まされながらも、
各会場では趣向を凝らした競技内容に、グ
ラウンドに集まった全ての人が楽しい1日
を過ごしました。



応援合戦



プットフラッグ



大むかで競走



いなばのうらさぎ

勇足大運動会 ~保育所・小学校・中学校~ 5/30

テーマ 勇足小学校「協力し、輝くゴールへゴーゴー！」
勇足中学校「進取果敢 ~25人の進む道~」



12人13脚



スマイル



大縄跳び



綱引き



大玉ころがし

おしゃべりに 花を咲かせて

5 25

銀河サロン（運営委員会主催＝三井誠子委員長）花見交流会が5月25日、本別公園内の義経の里休憩所ピーハウスで行われました。初めに三井委員長が「大いに食べて、楽しんでください」とあいさつ。参加した約40人は、おしゃべりに花を咲かせながら、炭火で肉や魚などを焼いて味わい、最後はカラオケ大会で盛り上がりました。



限界に挑戦し力走

5 26

北海道立農業大学校（友成公士校長）の第50回体力練成（強歩）大会が5月26日、町内で実施されました。同大会は、精神力と忍耐力を養い、お互いの親睦と交流を目的に毎年この時期に開催され、今年は136人の学生や職員らが参加。32.195kmのコースを、中には2時間程度で完走する学生もいるなど、それぞれのペースで限界に挑戦しながらゴールを目指しました。



百歳長寿おめでとございます 町敬老祝い金の贈呈

5 23

大留ヨシさん（東町）が5月23日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長が自宅を訪問し、敬老祝い金を贈呈しました。

ヨシさんは大正6年5月23日に岩手県でお生まれになり、昭和11年ころ、お姉さんの出産の手伝いのため本別町へ。軍馬補充部に勤務していた夫の故喜代美さんと結婚後、満州や仙美里、浦幌町で暮らし、本別郵便局に勤めながら1男6女のお子さんを育て、孫13人、ひ孫11人に恵まれました。平成19年に本別に住まいを移し、現在は家族の協力やショートステイを利用しながら自宅で暮らしています。ヨシさんが100歳を迎えたことについて長男の満輝さんは、「1日3回、規則正しく食べることが長生きの秘訣では。母は、味噌汁や牛乳、卵が好きで、風邪も引かずに元気に暮らしているので、これからも頑張って長生きしてほしい」と語りました。



義経教室がスタート

5 23

成人を対象とした義経教室が5月23日、仙美里教室を皮切りに今年度のプログラムがスタートしました。この教室は、「つどい・ふれあい・まなびあい」をテーマに年間8回のプログラムを通して健康に関する講座や軽スポーツなどを楽しむもので、本別・勇足地区でも同様に開催されます。今年度の3地区の受講者数は計84人で、26日の本別教室には14人が参加。町健康管理センター保健師を講師



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

各学校の手作りページ

HELLO 本別中央小学校

学校教育目標
自らを高めようとする子ども
考える子
助け合う子
がんばる子

4月に新1年生44人を迎え、全校児童221人で今年度がスタートしました。ほんの少しですが児童数も増え、今年度も「挨拶、返事、後片付け」を合い言葉に、一人ひとり、夢や希望に向かって歩む学校を目指し、家庭・地域の協力をいただきながら特色ある教育活動の充実を目指して日々取り組んでいます。

1年生

4月10日に入学してから、学校生活の中でたくさんのごことを経験し、毎日元気に登校しています。



4月に入学した1年生、少しずつ学校にも慣れてきました。

「1年生を迎える会」では、たくさんのお兄さんお姉さんからの歓迎を受け、ここで生活する喜びを新たにしたところでした。

遠足

前日まで天気心配された中、5月12日の当日は空も見事に晴れ渡り、全学年が元気にそれぞれの目的地に向かいました。



毎年、子供たちが楽しみにしている年に一度の遠足。今年も全学年が、計画通りに実施でき、どの子どももみんな笑顔で一日を過ごすことができました。学校の中ではできない貴重な体験もできました。

参観日

4月からそれぞれ学年が一つずつ上がり、子供たちの成長した姿を保護者の皆さんに見ていただきました。



新しい学年で、担任と共に、授業参観を行いました。どの子供たちも幾分緊張した中ではありましたが、みんな頑張って授業に臨み発表をするなど、立派な姿をお見せすることができました。



町中がたくさんの花でいっぱい

町内の自治会や各種団体などが、町中をキレイな花で飾り、道行くドライバーや来町者、町民の皆さんの目を楽しませています。



6/5

市街地婦人会（田原美枝会長）の会員22人が6月5日、十勝東北部銀河の里づくり協議会などの補助を受け、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側花壇の整備を行い、ペゴニア820株を植えました。



6/5

J A本別町女性部（井出克子部長）の部員28人と青年部（若林健一部長）の部員4人が6月5日、本別大橋から本別高校までの通学路にマリーゴールドやナデシコなど約1000株の花を植えました。



6/20

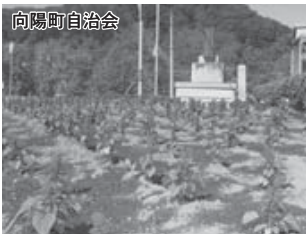
鎌田建設工業（鎌田健治社長）の職員10人が6月20日、地域貢献活動の一環として、町道共栄緑町線通りの花壇にマリーゴールドやサルビアなど800株の花を植えました。



6/19



南4丁目自治会



向陽町自治会



柏木町自治会

町自治会連合会（北谷和雄会長）主催の花いっぱい運動において、国道242号線沿いや公共施設周辺などの花壇にマリーゴールドなど6120株の花が植えられました。また、南4丁目自治会（佐藤豊作会長）、共栄自治会（岩本孝会長）、仙美里元町自治会（中山博志会長）の会員が、帯広開発建設部の補助を得て国道242号線沿いの花壇でペゴニアなど4948株の花を植えました。



6/11

病院ボランティアおよび町母子寡婦会（伊藤陽子会長）の会員など約30人が6月11日、町国保病院前花壇の花植えを行いました。花壇には、ペゴニアなど800株が植えられ、待合室からも彩りよく見えるよう丁寧に植えられました。

子供たちがプロレスラーに挑戦

5/27

町青年協議会（武川準司会長）が主催する北斗プロレス（札幌市）による「チャリティープロレスin本別」が5月27日、町体育館で開催されました。この日は10人の選手が出場して5試合が行われ、時折会場からは笑いが湧き起こりながらも、迫力のあるプロレスを、約100人の観戦者が楽しみました。試合前には子供たちとプロレスラーとの対決が行われ、本別柔道少年団の8人らが挑戦。大きなプロレスラーを前に、子供たちの内股や背負い投げなどの技が見事に決まりました。当日の益金の一部および来場者からの募金の計43,895円は町共同募金委員会へ寄付されました。



ちびっこラグーマンが白熱試合

5/28

第4回本別ラグビー祭（十勝クラシックラグーズ主催）が5月28日、太陽の丘多目的広場で行われました。大会には、帯広、遠軽、美幌などの小・中学生や社会人約180人が出場。開会式に引き続き、ラグビースクールとして、小中学生の試合が行われ、ちびっこラグーマンたちは、監督や保護者の声援を受けながら、体をぶつけボールを奪い合う、白熱戦を展開しました。



町がきれいに

十勝道路（山口富仁代表、帯広市）の社員7人が5月26日、29日、30日の3日間、町内の向陽町団地、共栄団地、北6丁目団地の3か所で駐車場ライン引きの作業を行いました。鹿島組（鹿島豊隆社長）の作業員6人が6月5日、本別中央小学校内および周辺の通学路の草刈作業を行いました。町老人クラブ連合会（小川健次会長）の会員21人が6月13日、総合ケアセンター裏庭の木の剪定作業と、あいの里交流センター駐車場の草取りを行いました。いずれも地域貢献活動の一環として環境整備が行われたもので、各所はきれいに整備され、利便性の向上が図られました。



5 26・29・30

十勝道路



6 5

鹿島組



6 13

町老人クラブ連合会



国民年金
コーナー

年金受給に必要な
資格期間が10年に
短縮されます！

その183

これまで、老齢年金を受け取るためには、国民年金保険料納付済期間と保険料免除期間などを合わせた資格期間が25年以上必要でした。平成29年8月1日からは、資格期間が10年以上あれば老齢年金を受け取ることができるようになります。

年金請求書が送付されます

資格期間が10年以上25年未満で、今まで老齢年金を受け取っていなかった人へ、氏名や住所などが印字された「年金請求書」が日本年金機構から郵送されます。
封筒が届いたら、平成29年8月1日より前でも請求手続きをすることができますので、年金事務所で手続きしてください。



自分たちの
通学路をきれいに

勇足元町子供会によるゴミ拾いボランティアが6月3日、同地区で行われました。会員の小学生6人と保護者5人が参加。森住駿会長が「みんなで勇足の街をきれいにしましょう」とあいさつした後、国道沿いの歩道を中心に、同地区公民館やバス停留所の周辺などを歩き、タバコの吸い殻、空き缶、ペットボトルなどを丁寧に拾い集めました。

酔って巡って
「はしご酒」

第4回ははしご酒ナイト（実行委員会主催）が6月7日、町内17飲食店で行われました。今回は205人が参加。参加者らは、職場の仲間や友人同士で4～5人程度のグループに分かれ、アースホールで受け付けをした後、指定された4店舗を約2時間で巡りながらワンドリンクとおつまみ、おしゃべりを楽しみ、最後は同ホールでの抽選会で盛り上がりしました。



エアロビで
リフレッシュ

家庭教育支援事業「なかよし」エアロビ講座が6月12日、健康管理センターで行われました。インストラクターの小林永枝さんを講師に、乳幼児のママ14人が参加。初めにストレッチで体をほぐした後、参加者らは小林さんの掛け声と軽快なリズムの音楽に合わせて全身を動かし、心地よい汗を流してリフレッシュしました。



福祉でまちづくりに学ぶ

立教大学コミュニティ福祉学部（埼玉県）に通う学生2人が6月13日から22日まで、3年次に行う社会福祉士の相談援助実習として、福祉でまちづくりを実践する本別町で前期実習に励みました。学生らは地域包括支援センター職員に同行して、総合ケアセンターや関係機関を訪問し、本別町における福祉の取り組み学びました。20日には本別高校で進学希望の3年生18人を前に、福祉の勉強をしようとしたきっかけなど、15分程度の講話を実施。本別高校の生徒らは学生らに、大学受験のアドバイスを受けるなど交流を深めました。本別町は、同大学が全国に4か所もつ遠隔地実習先の1つに選ばれており、学生らは9月にも後期実習として再度本別町を訪れる予定です。



ペットボトルロケットに歓声

前期あかげら少年団（教育委員会主催）の活動が6月17日、町体育館でスタートしました。この日は、結団式終了後、ペットボトルロケットを製作し、河川運動公園で発射実験。参加した小学3年生から小学6年生の5人は、猛スピードで打ち上げられるロケットに歓声を上げました。



旧交深め、
再会を誓う

第13回東京本別会（新津悦男会長）総会が6月17日、都内千代田区のイベントホールで開催されました。高橋正夫町長が本別町の近況を報告し、方川一郎町議会議長が祝辞を述べた後、会員らは、最近の様子を語り合い、話に花を咲かせていました。ふるさと本別町のブランド「クレイマメ」や特産品販売コーナーが盛況だったほか、地元企業から提供された特産品、ふるさと本別の特産品抽選会も盛り上がりしました。最後に「ふるさと」を出席した60人で大合唱し、再会を誓い合いました。翌18日は、第49回札幌本別会（相澤裕会長）総会が札幌市内のホテルで開かれ、約40人が旧交を深めました。相澤会長が新会員を紹介し、「次回の50周年に向けて会員を増強し、本別会を盛り上げていきましょう」とあいさつ。ピング大会で交流を深めました。



黄色の封筒
が届いた方は
年金
を受け取れます。

年金の受け取り
年金が決定されると、平成29年8月以降に「年金証書・年金決定通知書」が郵送されます。年金が振り込みされるのは平成29年10月以降になります。
手続きの前に予約を！
年金事務所で手続きをするときは、事前に予約をしないとスムーズに手続きをすることができません。ねんきんダイヤルもしくは年金事務所でご予約の上、手続きしてください。

ねんきんダイヤル
☎0570-0105-1165
帯広年金事務所
☎0155-651-5002
(ナビダイヤル)

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128
日本年金機構のホームページは
<http://www.nenkin.go.jp/>

情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包ま
れてすくすく元気に育ってね！



錦町
佐藤 敬悠
(佳奈ママ)



柏木町
原 大翔
(佐和子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています。

仙美里プロジェクト、ピアノレッスン始めます

旧仙美里中学校施設等を活用する仙美里プロジェクト(朝日星光代表)では、7月からピアノ教室を開設します。講師は、本別町出身で元音楽教諭の中村淳子さんです。中村さんは初任地として思い出深い旧仙美里中学校の校舎で、地域の人々がピアノを通じて音楽と触れ合うお手伝いができればと、楽しみにしています。対象は年齢を問わず、譜面が読めない人でも大歓迎です。



◆問い合わせ ☎080-9047-8618 (朝日代表)

ご寄付ありがとうございます 平成29年5月16日から6月15日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町農業振興基金

金 12,200,405円
… 本別町農業協同組合
代表理事組合長
田中 敏行



★本別町特別養護老人ホーム物品購入費

金 100,000円 …… 西美里別 井出美知子

★本別町指定

体重体組成計 2台 …… 札幌市
株式会社アキス設計コンサルタント 代表取締役 菅野 敏文

★中央公民館指定

タオル 30枚 … 本別町市街地婦人会 会長 田原 美 枝
マリーゴールド 120株 …… 上本別 小笠原 愛

★仙美里へき地保育所指定

牛乳贈答券 10,000円
…………… 拓農酪農振興会 会長 梅津 洋一

★老人ホーム指定

タオル 50枚 … 本別町市街地婦人会 会長 田原 美 枝

★消防署指定

ウエス 38枚 … 本別町市街地婦人会 会長 田原 美 枝

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

計 金 1,500,000円 …… 111人

みんなの 健康

395

コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した、運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語です。

英語で cognition (認知) exercise (運動) を組み合わせて cognitive (コグニサイズ) といいます。基本的にはどのような運動や認知課題でも構いませんが、次の内容が考慮されていることを前提とします。

1. 運動は全身を使った中強度程度の負荷(軽く息がはずむ程度)が掛かるものであり、脈拍数が上昇する(身体負荷の掛かる運動)
2. 運動と同時に実施する認知課題によって、運動の方法や認知課題自体をたまに間違えてしまう程度の負荷が掛かっている(難易度の高い認知課題)。

コグニサイズで 認知症予防

コグニサイズの目的は、運動で体の健康を促すと同時に、脳の活動を活発にする機会を増やし、認知症の発症を遅延させることです。認知課題は、運動と同時に行うと、運動の方法や認知課題自体をたまに間違える程度の負荷が掛かる難易度のものが望ましいとされています。基本的な動きは、一定のリズムで足踏みのしながら声を出して数を数え、3の倍数の時だけ声を出さず手をたたきましよう。課題に慣れ始めたら、どんどんと創意工夫によって内容を変えて下さい。「課題を考えること」も大事な課題です。皆で一緒に、間違えて笑って、試行錯誤しながら楽しんでいただくことを期待しています。



本別町国民健康保険病院
理学療法室 室長
小倉 博志

足寄町

全国一斉国立公園清掃デー

クリーン阿寒

オンネット地区清掃活動

足寄町では、阿寒国立公園の「グリーン阿寒」事業に参加し、オンネット地区の清掃を行います。一緒に清掃活動をしながらか自然観察や森林浴を楽しみませんか。

□ とき 8月6日(日)
□ 移動 町有バスで移動します。午前8時に足寄町民センターを出発します。

□ 内容 清掃活動、自然観察、森林浴

□ 参加料 無料

□ 問い合わせ あしよる観光協会事務局 ☎2516131

陸別町

第9回陸別スターライトフェスティバル

銀河の森天文台で講演会とミニコンサートを開催します。星空観望と併せてお楽しみください。

□ とき 7月8日(土)
□ 午後7時 講演会
□ 午後8時30分 ミニコンサート

□ 入館料(昼) 大人 3,000円
□ 大人 2,000円
□ 小 1,000円
□ 夜 大人 5,000円
□ 大人 3,000円

□ 問い合わせ 銀河の森天文台 ☎27181000

□ 内容

講演会「映像に見る空の不思議」
講師/空の探検家 武田康男氏
ミニコンサート
出演/アンサンブルグループ
「奏楽」音楽の贈り物
「奏楽」(MUSIC)

本のある暮らし 196

本別空襲を 伝え残すために

戸籍のまど

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分

西村 奏 咲 ちるん 二郎 美 5/28 弥生町

福家 加 衣 ちるん 立雄 真由美 6/5 朝日町

ご結婚

(富田 貴 浩 さん 押 帯
岡田 恵 美 さん 東京都新宿区

おくやみ

井出 モト さん 100歳 5/17 美里別西上

本木 次 夫 さん 78歳 5/20 山手町

小川 松 子 さん 85歳 5/21 緑 町

椿原 き 江 さん 94歳 5/21 北4丁目

倉川 亨 三 さん 68歳 5/25 錦 町

矢吹 正 義 さん 90歳 5/31 仙美里元町

田中 寛 さん 87歳 6/8 上押帯

菅野 喜 久 さん 97歳 6/9 北7丁目

安藤 一 美 さん 72歳 6/10 向陽町

河野 義 博 さん 73歳 6/13 北4丁目

濱田 ツ ヨ さん 95歳 6/14 勇足元町

戦後72年が経ち、戦争の時代を知る人が少なくなりました。1945（昭和20）年7月15日に十勝で最大の空襲被害を受けたわが本別町でも、空襲体験者から直接お話を聞くことは、年々難しくなっています。「今だから残せる本別空襲の記録」として、貴重な体験談がまとめられた郷土資料を紹介します。



2013年9月・発行

昭和郷土史
再現 本別空襲
本別郷土史研究会・編

本別郷土史研究会会長の吉井 誠 さん (85歳) に聞く

私は空襲時、旧制本別中学校の1年生でしたが、弥生町の自宅付近にいたので、被害の大きかった市街地の様子を見ていません。それがどうしても気になり、多くの記録や手記を読み、住んでいた方々から何度もお話を聞いて、書き綴ってきました。この小冊子では、写真や図を使い、新たな情報を含めて解説を加えています。郷土史の重大な出来事「本別空襲の真実」を後世に伝えたい。若い人たちにも読んでもらいたいと思います。

図書館では、歴史民俗資料館の企画展「7月15日本別空襲を伝える」に合わせて、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える本を展示します。ぜひご利用ください。

わたしたちのまち

前月比
人 口 **7,337人(-19)**
男 **3,608人(-13)**
女 **3,729人(-6)**
世帯数 **3,727戸(-12)**
〔5月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112